

春日井商工会議所 会議所ニュース5月号に掲載されました！

中京パイプ工業株式会社 創立60周年

誕生・創立 周り一面、全て田んぼだった



創業時の工場



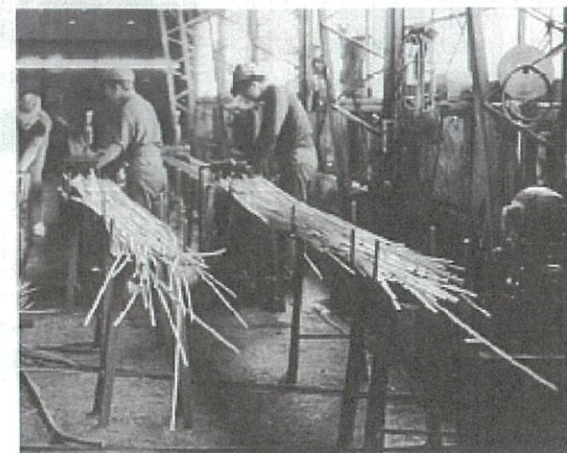
現在の工場

伊勢湾台風から半年、まだその痕跡が残る昭和35年2月24日“CPI”中京パイプ工業株式会社は、この場所、春日井市で誕生しました。

創業社長である山田澄(その後の平成2年まで社長)は会社設立の年に北海道茅部郡から家族5人で春日井の地に移り住みました。この春日井に会社を作ろうとした経緯は創業社長の山田澄の弟が大坂府堺市に同様な事業を立ち上げたのを見て、需要が多かった名古屋近辺にも、ということでした。もちろんそこに至るまで様々な曲折あったことは言うまでもありません。この時の山田澄の年齢は既に40歳を超えていました。この家族5人の中に二代目社長である山田治(平成2年から平成30年まで社長)がおり当時中学一年でした。

成長期 商売には“運がいいこと”も必要条件？

工場立ち上げ時は総員25名という小所帯で、銅管と黄銅管の引き抜き加工という全国的にみても特殊な仕事をしていました。お客様は名古屋の間屋さん(間屋)さんが殆んどで当時のエンドユーザーは主に雑貨、装飾品、水回りを含む衛生管だと聞いています。この商売の流れが大きく変わったのが、その後、全産業に対して絶大な影響をもたらすことになる自動車産業でした。当社も運よく自動車産業の一角に納入が叶ったことはその後の仕事量を大きく広げることになり安定した成長を当社にもたらしてくれました。



設立直後の抽伸工場

変革期 より付加価値の高い銅管加工品へシフト！



現在の抽伸工場

そんな時に救世主のように現れたのが名古屋に本社をおく給湯器メーカーでした。幸いにも当社はこの時点で既にパイプの加工品については自動車産業向けに多くの実績がありましたので、この給湯器メーカーの急成長に合わせて加工品へのシフトが比較的スムーズにいきました。この給湯器メーカーから教わった物造りのノウハウは大きな財産として有難く頂戴し今に活かしております。

自動車産業に依存して安定した仕事量が確保されたものの、やがて燃費改善の動きに伴い部品の軽量化への流れが世界的に主流となりました。加えてコストの高い、銅管、黄銅管といった金属に代わり価格も安く、かつ重量も軽いアルミ管や樹脂、鉄といった代替品が登場し急成長しました。当社も徐々にその影響を受けて、次の手を真剣に考える時期にさしかかっていました。



ロウ付け工程ライン

100年企業を目指して「夢工場」への挑戦！

現会長の山田治が平成17年に提唱した騒音、振動、埃、臭いのない“夢工場”という言葉があります。先日見学者から“臭いがなかった”という言葉聞いて少しずつ実現に向かっていて感じました。今年2月で60周年を迎えて社員・従業員からアンケートを募集した中から出てきた“パイプでつながる夢がある”という言葉キーワードに、夢工場を夢を育む100年企業を目指します。

夢工場実現に伴う成果は地域社会、社員・従業員、ひいてはお客様の為にもつながるものと考えます。

中京パイプ工業株式会社

- | | | | |
|------|-------------------------------------|-------|---------------------------------|
| ●所在地 | 486-0952 春日井市追進町2-38 | ●所属団体 | 春日井商工会議所
日本伸銅協会
小牧法人会 |
| ●代表者 | 代表取締役 山田 晶子 | ●業務内容 | 主に自動車向け黄銅管の抽伸加工
主にガス機器用銅管の加工 |
| ●TEL | 31-7161 | ●規格関係 | エコアクション21 認証番号0006621 |
| ●設立 | 昭和35年(1960年)2月24日 | ●HP | http://cpikk.com |
| ●資本金 | 3000万円 | | |
| ●従業員 | 役員・社員・パート 66名
派遣社員 30名
総計 96名 | | |